



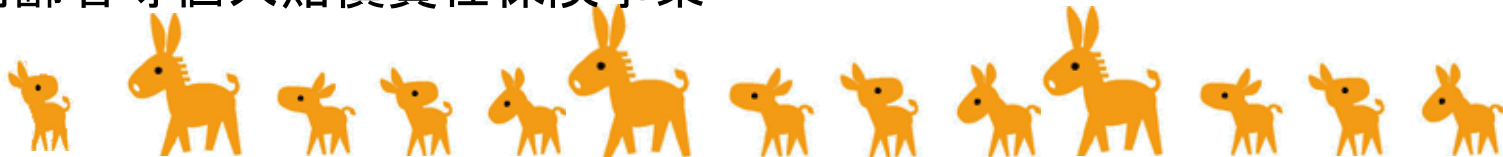
島田市の取組状況

令和4年度 認知症対策検討委員会
令和5年3月1日(水) 19時～

島田市の取組について

～ 令和4年度 ～

- ◎ 認知症サポーター養成講座
- ◎ キャラバンメイト養成講座
- ◎ 通いの場の推進
 - ・しまトレ ・居場所 ・地域ふれあい
- ◎ 認知症予防講座
 - ・ファイブ コグテスト ・認知症出前講座 ・VR認知症体験会 ・デジタルゲーム
- ◎ 認知症初期集中支援事業
- ◎ 9月アルツハイマー月間の取組
- ◎ 認知症家族会、認知症カフェ
- ◎ パワーリハビリ教室
- ◎ 成年後見制度
- ◎ 徘徊高齢者等事前登録事業
- ◎ 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業



認知症サポーター養成講座

- ◇小学校・中学校・高校でのキッズサポーターの養成
- ◇企業、ボランティア団体、民生委員を対象に実施

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
実績	10,448	12,170	13,438	14,007	14,841	15,523
計画	9,000	12,000	13,000	14,000	15,000	16,000

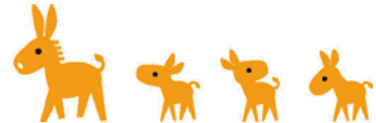
認知症サポーター養成講座受講者数（人）累計 ※2022年度については12月末実績



課題や今後の方向性など。

- ・コロナ禍での開催方法について随時協議する。
- ・企業での開催をする。
- ・中学校で開催を増やす。

① 普及啓発・本人発信支援



キャラバンメイト養成研修 (島田市主催)

◇研修会 令和4年11月26日(土) 18名受講

◎認知症サポーターに伝えたいこと

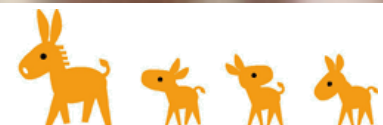
講師:金谷平成クリニック 新井先生

- ・認知症を理解する。

◎認知症サポーター養成講座の運営方法

講師:あったか広場一会 千頭和施設長

- ・サポーター講座の講義内容
- ・キャラバン・メイトの役割と講座運営の実際



新しく始めた取組・課題など。

◎しまトレ◎

介護予防講座(きっかけ講座)の実施。
活動の維持が難しい団体が出てきたこと。

◎居場所◎

活動の把握が難しいこと。

◎地域ふれあい◎

参加者・スタッフの高齢化による人数の減少



	しまトレ	居場所	地域 ふれあい
箇所数 (令和4年12月末)	97	73	41



◇ ファイブ・コグ ◇

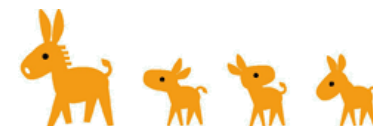
定例年 6回(4回終了) 出前講座 3回

テスト: 68名 結果説明 51名

◇ 認知症出前講座 ◇

4回 計104名(男性:21名、女性:83名)

令和4年12月末実績



◇ VR認知症体験会 ◇

(令和4年6月8日(水) 第1部 14時～15時30分、第2部 18時30分～20時)

・第1部 計26名

(20代 1名、30代 3名、40代 1名、50代 6名、60代 7名、70代 6名、80代 2名)

・第2部 計27名

(10代 1名、20代 2名、30代 5名、40代 8名、50代 6名、60代 4名、70代 1名)

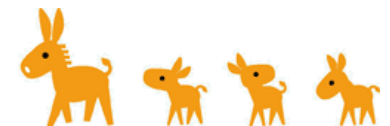


◇ デジタルゲーム ◇

【第1回 令和4年12月14日(水) 第2回 令和5年1月27日(金)】

第1回： 8名(男性 0名、女性 8名)

第2回： 10名(男性3名、女性7名)



認知症初期集中支援事業

◆早期診断・早期対応のための体制整備

◇地域包括支援センターに認知症初期集中支援チーム設置（6か所）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
チーム設置数	6か所	6か所	6か所	6か所	6か所
サポート医人数 (人)	6	6	6	6	6
チーム員会議開催数 (回)	13	12	13	11	4
新規検討件数(件)	9	8	6	5	3
検討件数(実件数)	9	10	7	7	4
検討件数(延件数)	16	16	14	11	4

◇認知症サポート医連絡会の開催（サポート医6名）令和5年1月31日

◇認知症地域支援推進員（市と地域包括支援センターに配置） 8名
連絡会 5回開催

令和4年12月末実績



9月アルツハイマー月間の取組み

◇広報しまだ8月号

認知症に関する市の取組み・成年後見制度の紹介

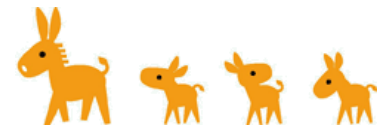
◇図書館に展示

島田：認知症についての本等の設置

金谷：認知症についてや包括ケア推進課の取組を展示

◇ロバ隊長（認知症サポーターキャラバン）のマスコット）のシール

マスクなどに貼り、アルツハイマー月間を周知した。



◆介護する家族のための集い◆

◎認知症家族のつどい～つながり～ ◎ 保健福祉センター 毎月1回

令和4年度 9回 延べ 60名参加 ※12月末実績

内容:おしゃべり会に加えて専門職による講座を取り入れた。講座の内容は参加者からの希望も取り入れている。

【9月:防災について 10月:認知症について 11月:ゲートキーパーについて 12月:栄養について】

◎かなやいっぷく処◎

金谷地区社協 毎月1回開催

内容:おしゃべり、サザエさん体操

◆認知症カフェ◆

◇設置箇所:7箇所(うち一期一会のオレンジカフェは新型コロナの影響により未開催。)

ウェルシア内でウェルカフェを開催し、講師を招きタークティルケアを実施。

薬局同士をオンラインで繋ぎ、異なる学区の参加者同士の交流を図った。など。



◆社会参加の促進

◇パワーリハビリ教室(3会場:おおるり、金谷、六合)※1期6か月間
シニアサポーターによる事業

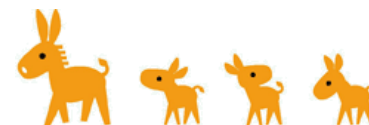
シニアサポーター数 84人
(令和4年12月末)

教室利用者数

1期 実参加者 105人
(4月～9月で実施)

2期 実参加者 127人
(10月～3月で実施)

延べ参加者(見込み) 4,289人



◆成年後見制度利用支援事業◆

◆ 市長申立て

本人または4親等内の親族が申立てできない場合、代わりに市長が申立てを行います。

令和4年度 3件(令和4年12月末までの実績)

◆ 報酬助成

後見人への報酬の支払いが困難な方を対象に、後見人への報酬を助成します。

令和4年度 13件(令和4年12月末までの実績)

◆成年後見支援センターを社会福祉協議会に委託。権利擁護、成年後見制度の申立てに関する相談と支援を行います。

相談件数 令和4年度 453件(令和4年12月末までの実績)



令和2年度から開始

◆見守り体制の整備

認知症により行方不明となるおそれのある方を事前に登録し、警察や高齢者あんしんセンターと情報共有し、速やかな発見・保護につなげていきます。

登録者 36人(令和4年12月末日時点)

・対象者

認知症により行方不明となるおそれのある、在宅で生活している高齢者又はこれに準ずる者

・申請者

対象者の配偶者及び4親等内の親族



認知症高齢者等個人賠償責任保険事業

令和2年度から開始

・対象者

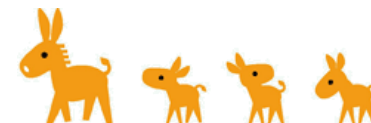
徘徊高齢者等事前登録事業の登録した者であって

- ①認知症のある人が同種の保険に加入していないこと
- ②運転免許証を所持していないこと

・事業内容

徘徊高齢者等事前登録事業に登録した人を被保険者として、市が契約する保険に加入し、日常生活における偶然な事故に起因した法律上の損害賠償責任が発生した場合に、最大1億円まで補償する。

利用者 29人(令和4年12月末日時点)



◎eスポーツ事業

加齢に伴う身体機能の低下や、新しい学びや趣味などにのぞむ機会の減少、交流・コミュニケーション機会の減少などによる要介護人口へとつながる要因に対して、簡易的に楽しくeスポーツを行うことを習慣化する環境を整備し、脳の活性化や身体・認知機能低下の予防方法における一つのツールとして実施する。

◎認知症に関する上映会(映画)

認知症の方の行動や接し方を学び、そして、認知症の方の家族の気持ちを知ること、認知症の方、その家族に対してさりげない援助が出来ることに繋げる。そして地域のあらゆるところで、温かく見守り、さりげない援助をしてくれる人が増えることで、認知症の方とその家族が住みやすい、こころのバリアフリー社会作りに繋げることが目的である。

